

【 第26回技術研修会 】

# 防水板など紹介

## 兵庫県設監協が技術研修会



兵庫県建築設計監理協会（瀬戸本淳会長）は28

日、神戸市中央区の神戸東急インで技術研修会を開いた。写真。協会の

会員が新技術や新商品を紹介する場として定期的に開催しており、今回が26回目。正会員や協力会員ら約60人が参加した。

冒頭、瀬戸本会長が「多めに勉強し、仕事に

役立ててほしい」とあいさつ。続いて、ピアレックス・テクノロジーズ（大阪府泉大津市）、ナカシマ（兵庫県姫路市）、家根源（神戸市兵庫区）の3社が発表した。

膜自体が導電性を持っており、ちりやほこりが付きにくく、施工性にも優れる。凹凸面でも効果を発揮する」などと説明した。

利用し、集水バケツに水がたまれば、自動的にゲートが閉まる。作動時には注意喚起する装置を備えている」と商品の特徴を述べた。

ピアレックス・テクノロジーズは、フッ素樹脂で親水性を確保し、光触媒を採用することで汚れを落ちやすくする世界初のコーティング材「ピュアコート」を紹介。同社の広瀬直輝取締役営業部長が「耐久性に優れ、塗

ナカシマは、電気を使わず水の力で地下駐車場や地下街などの浸水を防止するLIXIL鈴木シヤッターの防水板シリーズ「アピアガード」を紹介。LIXIL鈴木シヤッター大阪支店営業開発グループの種本辰巳グループ長が「滑車の作用を

最後に家根源は、ディートレーディングの高耐久屋根材「ディーズルーティング」を紹介。担当者が「メンテナンスが長期間不要で、塗装の塗り替えも要らない。雨音も静かな屋根材」などと説明した。